

kintone レンタカー管理システム

ExcelとLINEでの車両管理から脱却し、情報を一元化 レッカー・レンタカー業務の効率化と稼働状況の見える化を実現

車両情報や稼働状況を一元管理し、車両管理業務の効率化を行いたい。
レッカー・レンタカー業務を手がけるN車両レンタル会社様は、このような狙いで、「kintone レンタカー管理」の導入を決めました。
導入により、これまでExcelやLINEで分散していた情報を一元管理できるようになり、車両の保管場所や稼働状況をすぐに把握できるようになりました。情報の確認や共有にかかる手間が削減され、現場での対応スピード向上にもつながっています。



背景と課題

分散管理による車両把握の非効率

これまで、車両の情報をExcelで管理しながら、稼働状況についてはLINEのノート機能で共有しており、管理方法が分かれている状態でした。そのため、必要な情報を確認する際に複数のツールを見なければならず、手間がかかっていました。

また、車両がどこに保管されているのか、現在どのような状態なのかを把握するために、都度確認が必要になることもあり、業務がスムーズに進まない場面もありました。

全体として、情報が分散していることで、管理や共有に余計な工数がかかってしまっている点に課題を感じていました。

選定と導入

シンプルで使いやすい車両管理基盤

今回の見直しでは、「できるだけシンプルに、現場で使いやすい形で車両情報を管理できること」を重視していました。そうした中で、スターシステム様からkintoneを活用したシステム構築のご提案をいただきました。

提案を受けて良いと感じたのは、これまでExcelやLINEで行っていた管理内容を、そのまま整理して一つのシステムにまとめられる点でした。難しい操作や複雑な仕組みではなく、必要な情報をシンプルに管理できることが、現場での使いやすさにつながると感じました。

また、kintoneは業務に合わせて柔軟にアプリを構築できるため、車両の管理情報や保管場所、稼働状況などを一元的に扱える点にも魅力を感じました。

さらに、ヒアリングから開発までの時間を固定した対面開発プランをご提案いただいたことで、短期間で必要な機能を整理しながら導入できる点も、当社にとって非常に導入しやすいポイントでした。

成果と今後

車両情報の一元化による業務効率向上

導入後は、車両情報や稼働状況を一つのシステムで確認できるようになり、これまで複数のツールを行き来していた手間がなくなりました。必要な情報をすぐに確認できるようになったことで、現場での対応もスムーズになったと感じています。

また、車両の保管場所や稼働状況が見えるようになったことで、状況の把握や共有がしやすくなり、業務全体の流れも改善されました。

今後は、さらに運用を進めながら、より使いやすい形へ改善していくとともに、蓄積されたデータを活用して、車両の稼働状況の分析や業務の最適化にもつなげていきたいと考えています。